



## 看護師も患者も引き寄せる マグネットホスピタルを目指して

### 東北ナース×ジャパンハート

#### マグネットホスピタルとは？

1994年にアメリカで発祥した「看護師を惹きつけ、高い定着率を維持している魅力的な病院」という概念です。

看護師が定着することで、必然的にケアの質が安定し、医療安全も高まります。すると、患者の間で、その良質な看護が評判となり、患者が集まってくるようになります。

患者の定着は病院の経営改善に繋がります。それが看護師の働きがいを高め、ケアの質が向上し、さらに患者を定着させます。

看護師の皆さんが「看護師業務」に集中するには、何を効率化すれば良いのか。

病院や地域の魅力をどのように広報・拡散していけば良いか。共に考え共に行動していきます。

**よろしくお願ひします。ジャパンハートからやって来ました。**



## 医療の届かないところに医療を届ける

ジャパンハートは、国内外で無償での治療提供や医療チームの派遣をしている、日本発祥の国際NGOです。「目の前のひとりの生まれてきてよかったを、日本の医療から」を目標に掲げ、命を救うことはもちろん、医療を通じて一人ひとりの人生をより良いものにするを目標として活動しています。

### 1 途上国の貧困層

病院がない、医師や看護師がいない、必要な薬が手に入らない、治療費が払えない……。世界の人口の半分は、必要な基本的医療サービスを受けられずにいます。医療費の負担が原因で貧困に陥った人も、1億人いると推定されています。(WHO/世界銀行調べ) 特に、手術など費用の掛かる治療は、多くの人にとって「受ける機会すらない」ものでも、治療さえできれば患者さんの命を救い、人生をより良いものに変わります。



カンボジアでは、国内で唯一、無償で小児固形がんを治療する病院を運営。受け入れた患者は、途上国の標準的な生存率20%を大きく超える、50%以上の生存率を実現しています。

### 2 国内外の災害被災地

災害が発生すると、けが人が発生するのは言うまでもありません。でも、災害直後だけでなく、避難中や自宅に戻った後、生活が元通りになるまで、あるいは医療・介護施設が平常に戻るまで、医療のニーズが高まります。私たちは、自治体や医療機関・介護施設などと連携し、必要に応じて医療チームの派遣や物資の提供などを通じて、災害被災地の命と人を守る活動をしています。



災害被災地は、けが人がいる被災直後だけでなく、社会や医療体制が元通りになるまでの復興期にも支援が必要。新型コロナウイルス感染症を受けて、多くの医療機関・介護施設に医療チームを派遣しました。

### 3 日本の離島・へき地

人の多い都市部から離れた離島・へき地では、医療従事者、特に看護師・助産師が不足する傾向にあります。一方で、普段とは違う環境で働いてみたいと考える医療従事者も少なくありません。そこで、働き手を探す医療機関と、離島・へき地で働いてみたい医療従事者を結びつけ、よりよい環境で働けるよう支援する仕組み（RIKAjob）作りに取り組んでいます。



離島・へき地の病院と連携した人材マッチングのほか、平時は離島・へき地の病院で働き、災害発生時には災害支援チームに参加する仕組みを通して、万が一の際の医療支援にもつなげています。